

平成27年度事業報告書

自然資源保全協会（GGT）は、設立以来、環境および自然資源の保全とその持続可能な利用を推進するというGGTの目的を達成するために、さまざまな活動を展開してきた。とくに、一般への普及活動、各種実態調査、内外を問わず志を同じくするNGOとの連携活動は重要な事業であると位置づけて積極的に取り組んでいるところである。

I. 組織の状況

1. 会員

種 別		平成26年度末	増	減	平成27年度末
正 会 員	法人	44	1	2	43
	個人	90	7	4	93
	小計	134	8	6	136
賛 助 会 員	特別	2	0	0	2
	法人	2	0	0	2
	個人	235	13	22	226
	小計	239	13	22	230
合 計		373	21	28	366

II. 事業実施状況

1. 広報普及活動

(1) 講演会・会議・イベント等の開催および参加

- ① 平成27年5月27日に高知市での宝石サンゴ入札会に参加した。ワシントン条約第17回締約国会議に附属書掲載提案提出が懸念されていたことから、宝石サンゴ関係者に向けて宝石サンゴを取りまく国際情勢及び環境団体の動きについて説明を行った。
- ② 7月14日には全日本持続的養鰻機構関係者にむけてワシントン条約についての説明会を開催した。2016年に開催予定の第17回締約国会議までのタイムスケジュールや会議の手続き関係を解説し、ウナギについての対応を協議した。
- ③ 4月15日象供養(護国寺)及び11月11日タイマイ供養(浅草寺)に出席した。象牙業界やべっ甲業界関係者にCITES関連情報を提供した。
- ④ 上記以外に定期的に行われる国際対策委員会、MEL ジャパン広報普及委員会及び

捕鯨懇談会、海洋フォーラム等に参加し、情報発信に努めた。

(2) 会報等の発行

会報としてニュースレターをこれまで、9月24日と12月24日、及び平成28年3月4日の計3回発行した。

当協会のホームページの内容は随時、更新しているところである。

(3) パンフレット、資料等の作成配布

当協会主催の講演会あるいは関連シンポジウム等の場を利用して、これまでに作成した資料やパンフレット・ポスター等の配布をおこなった。

今年度は宝石サンゴ漁業の厳格な資源管理や自然にやさしい漁法をわかりやすく説明したフランス語版パンフレットを新たに制作し、イタリアで開催した宝石サンゴ地中海ワークショップで活用・配布した。

水産庁委託事業「水産資源持続的利用国際動向調査事業」において、フカヒレ反論パンフレット及び「【第三版】海洋環境にやさしい漁業 実践の手引き(海鳥・サメ・海亀)」を作成し、関係者に配布した。

2. 資源情報調査活動

(1) 情報の収集

日常的に海外の環境団体等の情報を収集し、関係者に提供した。

なかでも水産庁補助事業において、海外コンサルタント7者とコンサルタント契約を締結し、海外漁場に関係する国や機関の漁業情報はじめ海外環境保護団体の動向やIUU漁業についての規制措置の動向等の情報収集につとめ、日々関係先に提供した。収集した情報は1年間で1,275件にのぼり、その情報量は292メガバイト以上となった。

(2) 調査事業等の実施

① 水産庁からの委託事業は平成25年度より5か年事業の「水産資源持続的利用国際動向調査事業」を受託した。混獲生物検討協議会は7月と2月に計2回開催し、サメ及び海鳥の国内行動計画改定案を検討、平成28年7月にFAO水産委員会に提出するためのサメ・海鳥評価レポート案を作成した。

② 国際動向に対応する検討委員会を9月に開催し、ワシントン条約第66回常設委員会にむけての対応を議論するとともに、平成28年に予定される第17回締約国会議に向けた情勢を検討した。

- ③ サメ類に関する情報収集体制を構築するため、データベース検討協議会を立ち上げ、データベースの内容を充実させるために国内で収集可能なサメ類の情報をインターネット会議により調査した。
- ④ 海外におけるサメ類の水揚げ情報収集調査を11月にスリランカで実施し、平成26年9月に効力を発生したCITES附属書掲載によりサメ類の国際取引が及ぼす影響について調査した。また、9月に香港でのフカヒレ取引状況に関し現地で聞き取り調査を実施した。
- ⑤ 平成23年に発生した東日本大震災により福島県の水産物が風評被害を受けている問題に関して、平成28年2月に福島県漁連及び相馬双葉漁協、いわき市漁協で聞き取り調査を実施した。
- ⑥ 東京象牙美術工芸協同組合からの委託事業として、平成27年度はナミビアの象牙原材料確保調査事業を行い、アフリカゾウに関する象牙資源量調査を現地で実施した。
- ⑦ 宝石珊瑚保護育成協議会の委託事業では、10月5～6日の2日間、イタリアのトッレ・デル・グレコで宝石サンゴ地中海ワークショップを開催した。ワシントン条約(CITES)対策の一環として、地中海諸国(特に北アフリカ地域)との協力強化のため、IWMC国際野生生物管理連盟のユージン・ラポワント代表と協力して開催した。日本側は水産庁担当官、水産総合研究センター主任研究員とともに日本珊瑚商工協同組合と宝石珊瑚保護育成協議会が業界を代表して参加した。

3. 国際会議等への参加および海外交流活動

(1) 国際会議等への参加

協会役職員等が下記に掲げる各種国際会議に、NGO或いは政府顧問として参加した。

宝石サンゴ地中海ワークショップ(トッレ・デル・グレコ)	10/5～6
責任ある漁業のための行動規範20周年シンポジウム(ビーゴ)	10/8～9
ICCAT第24回年次会合(マルタ)	11/10～18
ワシントン条約第66回常設委員会(ジュネーブ)	1/11～15

(2) 海外NGOとの協力

海外のNGOとの関係強化を図り、連携を進めていくために、海外から来日したNGOの代表と意見交換をおこなった。平成27年9月と12月に来日したIWMC代表のラポワント氏を漁業関係団体や象牙関係団体に案内し、CITES関係意見交換会を個別に実施するとともに、第17回ワシントン条約締約国会議に向けて取り組むべき課題を検討した。

IWMC以外にも、ベルギーのEBCDや、その他米国の持続可能な利用を支持する海

外NGO、コンサルタントと協力して、環境問題に関する国際的な動向について連携して情報収集活動を行った。

貸借対照表

(平成28年3月31日 現在)

一般社団法人 自然資源保全協会

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	39,306,579	40,853,168	▲ 1,546,589
未収金	3,510,000	0	3,510,000
仮払金	0	0	0
流動資産・合計	42,816,579	40,853,168	1,963,411
2. 固定資産			
(1)基本財産	0	0	0
(2)特定財産	0	0	0
(3)その他の固定資産			
什器備品	163,392	207,201	▲ 43,809
敷 金	1,851,232	1,851,232	0
その他の固定資産・合計	2,014,624	2,058,433	▲ 43,809
固定資産・合計	2,014,624	2,058,433	▲ 43,809
資 産・合 計	44,831,203	42,911,601	1,919,602
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
未払費用	320,917	311,790	9,127
預り金	296,570	924,222	▲ 627,652
前受金	0	310,000	▲ 310,000
仮受金	0	0	0
流動負債・合計	617,487	1,546,012	▲ 928,525
2. 固定負債			
退職金給付引当金	16,070,000	14,370,000	1,700,000
固定負債・合計	16,070,000	14,370,000	1,700,000
負 債・合 計	16,687,487	15,916,012	771,475
III. 正味財産の部			
1. 指定・正味財産	0	0	0
(うち,基本財産, 特定資産への充当額)			
2. 一般・正味財産	28,143,716	26,995,589	1,148,127
(うち,基本財産, 特定資産への充当額)			
正味財産・合計	28,143,716	26,995,589	1,148,127
負債 及び 正味財産・合計	44,831,203	42,911,601	1,919,602

正味財産 増減計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

一般社団法人 自然資源保全協会

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産 増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 会費 収入	20,946,000	24,142,000	▲ 3,196,000
(一般会費)	(8,910,000)	(9,160,000)	(▲ 250,000)
法人会費	《 8,130,000 》	《 8,430,000 》	《 ▲ 300,000 》
個人会費	《 780,000 》	《 730,000 》	《 50,000 》
(賛助会費)	(12,036,000)	(14,982,000)	(▲ 2,946,000)
賛助特別会費	《 10,010,000 》	《 13,460,000 》	《 ▲ 3,450,000 》
賛助法人会費	《 1,600,000 》	《 1,076,000 》	《 524,000 》
賛助個人会費	《 426,000 》	《 446,000 》	《 ▲ 20,000 》
② 事業 収入	38,360,000	24,951,706	13,408,294
IWMC(国際野生生物管理連盟)情報調査	(500,000)	(500,000)	(0)
漁業情報調査事業	(800,000)	(0)	(800,000)
海の幸に感謝する会	(0)	(1,046,247)	(▲ 1,046,247)
水産資源持続的利用国際動向調査事業	(14,512,000)	(16,878,000)	(▲ 2,366,000)
象牙原材料確保調査事業	(2,948,000)	(2,988,000)	(▲ 40,000)
宝石珊瑚ワットン条約対策事業	(19,600,000)	(3,539,459)	(16,060,541)
③ 補助金等 収入	25,896,000	28,350,000	▲ 2,454,000
国際漁業連携強化事業	(25,896,000)	(28,350,000)	(▲ 2,454,000)
④ 雑収入等 収入	52,637	167,348	▲ 114,711
受取利息	(6,310)	(4,842)	(1,468)
消費税戻し	(46,327)	(162,506)	(▲ 116,179)
⑤ 退職金給付引当金取崩益	0	0	0
経常収益・計	85,254,637	77,611,054	7,643,583
(2) 経常費用			
① 事業費 支出	65,806,580	53,979,209	11,827,371
情報活動費	(1,606,651)	(1,595,219)	(11,432)
IWMC(国際野生生物管理連盟)情報調査	《 418,463 》	《 418,463 》	《 0 》
風評被害軽減化対策事業	《 388,188 》	《 225,622 》	《 162,566 》
漁業情報調査事業	《 800,000 》	《 0 》	《 800,000 》
海の幸に感謝する会	《 0 》	《 951,134 》	《 ▲ 951,134 》
国際会議等開催費	(0)	(0)	(0)
資源情報調査費	(63,995,248)	(52,353,990)	(11,641,258)
水産資源持続的利用国際動向調査事業	《 14,512,000 》	《 16,878,000 》	《 ▲ 2,366,000 》
象牙原材料確保調査事業	《 2,961,000 》	《 3,001,000 》	《 ▲ 40,000 》
宝石珊瑚ワットン条約対策事業	《 19,600,000 》	《 3,539,459 》	《 16,060,541 》
国際漁業連携強化事業	《 26,922,248 》	《 28,935,531 》	《 ▲ 2,013,283 》
会報作成費	(204,681)	(30,000)	(174,681)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
②管理費 支出	16,599,930	16,093,647	506,283
役員報酬	(5,236,830)	(4,723,546)	(513,284)
職員給与	(1,097,274)	(702,296)	(394,978)
法定福利費	(2,287,083)	(2,254,884)	(32,199)
福利厚生費	(297,870)	(330,690)	(▲ 32,820)
交 際 費	(20,000)	(10,000)	(10,000)
会 議 費	(59,501)	(75,846)	(▲ 16,345)
旅費交通費	(854,637)	(777,188)	(77,449)
通信運搬費	(199,387)	(217,199)	(▲ 17,812)
消耗品費	(135,481)	(609,331)	(▲ 473,850)
水道光熱費	(196,044)	(231,029)	(▲ 34,985)
新聞図書費	(187,596)	(197,606)	(▲ 10,010)
諸 会 費	(663,500)	(663,500)	(0)
支払手数料	(815,592)	(771,653)	(43,939)
事務所費	(4,376,572)	(4,132,752)	(243,820)
租税公課	(91,867)	(269,700)	(▲ 177,833)
減価償却費	(43,809)	(49,644)	(▲ 5,835)
雑 費	(36,887)	(76,783)	(▲ 39,896)
③退職金 支出	0	0	0
経常費用・計	82,406,510	70,072,856	12,333,654
当期経常・増減額	2,848,127	7,538,198	▲ 4,690,071
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	0	0
(2)経常外費用	1,700,000	1,600,000	100,000
退職給付引当金	(1,700,000)	(1,600,000)	(100,000)
当期経常外・増減額	▲ 1,700,000	▲ 1,600,000	▲ 100,000
当期一般正味財産・増減額	1,148,127	5,938,198	▲ 4,790,071
┌ 一般正味財産・期首残高	26,995,589	21,057,391	5,938,198
└ 一般正味財産・期末残高	28,143,716	26,995,589	1,148,127
II. 指定正味財産 増減の部			
当期指定正味財産・増減額	0	0	0
┌ 指定正味財産・期首残高			
└ 指定正味財産・期末残高			
III. 正味財産・期末残高	28,143,716	26,995,589	1,148,127

正味財産増減計算書内訳表

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

科 目	実施事業	その他事業	法人会計	内部取引 控除	合 計
	継 1	他 1			
I : 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①会費 収入			20,946,000		20,946,000
(一般会費)			8,910,000		8,910,000
法人会費			8,130,000		8,130,000
個人会費			780,000		780,000
(賛助会費)			12,036,000		12,036,000
賛助特別会費			10,010,000		10,010,000
賛助法人会費			1,600,000		1,600,000
賛助個人会費			426,000		426,000
②事業 収入	38,360,000				38,360,000
IWMC(国際野生生物管理連盟)情報調査	500,000				500,000
漁業情報調査事業	800,000				800,000
水産資源持続的利用国際動向調査事業	14,512,000				14,512,000
象牙原材料確保調査事業	2,948,000				2,948,000
宝石珊瑚ワシントン条約対策事業	19,600,000				19,600,000
③補助金等 収入	25,896,000				25,896,000
国際漁業連携強化事業	25,896,000				25,896,000
④雑収入			52,637		52,637
⑤退職金給付引当金取崩益					0
経常収益計	64,256,000		20,998,637		85,254,637
(2) 経常費用					
(事業費)	65,601,899	204,681			65,806,580
①情報活動費	1,606,651				1,606,651
IWMC(国際野生生物管理連盟)情報調査	418,463				418,463
風評被害軽減化対策事業	388,188				388,188
漁業情報調査事業	800,000				800,000
②資源情報調査費	63,995,248				63,995,248
水産資源持続的利用国際動向調査事業	14,512,000				14,512,000
象牙原材料確保調査事業	2,961,000				2,961,000
宝石珊瑚ワシントン条約対策事業	19,600,000				19,600,000
国際漁業連携強化事業	26,922,248				26,922,248
③会報作成費		204,681			204,681

科 目	実施事業	その他事業	法人会計	内部取引 控除	合 計
	継 1	他 1			
(管理費 支出)	9,168,267	444,984	6,986,678		16,599,930
①役員報酬	3,665,781		1,571,049		5,236,830
②職員給与	713,228	54,864	329,182		1,097,274
③法定福利費	1,541,494	59,464	686,125		2,287,083
④福利厚生費	193,616	14,894	89,361		297,870
⑥交 際 費			20,000		20,000
⑦会 議 費			59,501		59,501
⑧旅費交通費			854,637		854,637
⑨通信運搬費	59,816	79,755	59,816		199,387
⑩消耗品費			135,481		135,481
⑪水道光熱費	127,429	9,802	58,813		196,044
⑫新聞図書費			187,596		187,596
⑬諸 会 費			663,500		663,500
⑭支払手数料			815,592		815,592
⑮事務所家賃	2,844,772	218,829	1,312,972		4,376,572
⑯租税公課			91,867		91,867
⑰減価償却費			43,809		43,809
⑱雑 費	22,132	7,377	7,377		36,887
(退職金 支出)			0		0
事業活動 支出・計	74,770,166	649,665	6,986,678		82,406,510
事業活動・収支差額	△ 10,514,166	△ 649,665	14,011,959		2,848,127
II：投資活動 収支の部					
2. 投資活動 支出	1,152,600	37,400	510,000		1,700,000
①退職金給付引当金	1,152,600	37,400	510,000		1,700,000
投資活動・収支差額	1,152,600	37,400	510,000		1,700,000
III：財務活動 収支の部					
1. 財務活動 収入					0
2. 財務活動 支出					0
財務活動・収支差額					0
IV：予備費 支出					0
当期・収支差額	△ 11,666,766	△ 687,065	13,501,959		1,148,127
前期繰越 収支差額					26,995,589
次期繰越 収支差額					28,143,716

(注) 借入金・限度額…200,000円